

令和元年度指定管理業務に関する事業報告書（特養，デイ，短期）

京都市西ノ京老人デイサービス
センター（デイサービスセン
ターきこえの森）

施設名

1 施設の管理運営

指定通所介護および介護予防型デイサービス事業所として、日常生活上の援助（食事・入浴・排泄・送迎等）、機能訓練、レクリエーション等の介護サービスを提供。また、利用に関する調整、通所介護計画書の作成、および利用者や家族への相談援助を実施。。聴覚障害のある高齢者の方については、可能な範囲で通常のサービス提供地域以外からの受け入れや、聴覚言語障害センターとの連携による支援を実施している。

（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

2 事業実施内容

職員による処遇の質の向上を図るために、事業所会議（毎月1回）、部研修会（年4回）、居宅支援事業所との合同ケース会議（年3回）開催。また、介護技術向上のため新任職員を外部研修に派遣した。利用者の安全を図るための防災訓練を、火災想定（2回）に加え水害想定（1回）を実施した。
教員免許取得のための介護等体験実習、中学生のチャレンジ就労体験を受け入れている。
2019年11月に第三者評価を受診し、より適正で質の高いサービス提供に努めている。

（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

（参考）自主事業内容

3 サービス提供状況

管理者1人（相談員・介護職員兼務）、相談員3人（介護職員兼務）
介護職員6人（常勤1人、非常勤5人）
看護師3人（常勤1人（介護職員と兼務）、非常勤2人）、機能訓練指導員3人（常勤兼務3人）、送迎職員6人（非常勤）、

（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

4 市内中小企業への発注に対する考え方

・特殊設備や保守管理以外は市内の中小企業を活用するよう努めている。

5 施設の利用状況（施設の稼働率，利用者数，事業参加者数など）

(1) 延べ利用者数（実績値）

8788 人

(2) 実利用者数（実績値）

1184 件

(3) 収支実績

ア 令和元年度収入状況（単位：円）

介護保険収入	71,482,490
利用料収入	15,026,542
委託料収入	
補助金収入	
寄付金収入	
雑収入	
その他	2,550
収入計	86,511,582

イ 令和元年度支出状況（単位：円）

人件費	58,899,092
事業費	10,419,385
委託費	83,175
小額修繕費	84,161
その他	5,813,003
支出計	75,298,816

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

令和元年度は第三者評価受診にかかり評価機関による利用者ヒアリングを行ったため、事業所として満足度調査は実施していない。サービス提供中に受けた意見及び対応については事業所内に掲示し利用者に開示している

(2) 利用者満足度把握の結果

利用者から寄せられた主なご意見・要望
・利用時間の短い火曜日も喫茶の時間を作ってほしい
・外出レクリエーションを増やしてほしい
・脳トレの内容を定期的に更新してほしい など

(3) 意見等への主な対応状況

サービス時間が短い火曜日について、午後の喫茶提供を実施していなかったが、利用者からのご希望を受け給食部門と協議し、2019年度より火曜日の喫茶提供を開始した。

7 その他特記事項

(1)

利用者の在宅生活を支援する観点から、利用者が自分でできることを増やすための取り組みや介護の工夫をおこなっている。SKYフェスティバル出展作品の制作や、外部講師による折り紙、生け花教室の実施、買い物や喫茶外出などにより、社会参加と生活機能訓練の機会を提供する取り組みを行っている。

(2)

聴覚言語障害者福祉施設を母体としており、手話のできる職員を配置しろうあ者の方が安心して利用できる環境を整えている。言語聴覚士による新たな難聴者支援として、小グループによる「話そう会」を開催しコミュニケーション支援を強化した。

8 評価（指定管理者自己評価）

1) 令和元年度は、利用実績の向上を図り、地域のニーズに応じていくために、介護方法や職員配置の工夫により受け入れ態勢を強化することで、新規利用者の受け入れ、増回の受け入れを積極的に行いました。その結果、延べ利用件数が前年度比551件増、1日平均利用者数28.3名（前年度26.9名）と前年比6.7%の増加を達成しました。昨年度比556万円余の増収となり、収支状況は前年度までのマイナスから1120万円余りのプラスに転換することがました。

2) 聴覚言語障害者福祉施設を母体としており、聴覚言語に障害のある利用者の受け入れと、コミュニケーション支援を積極的に行っています。特に手話で話をするろうあ者の方については通常のサービス提供地域以外の地域へ送迎を実施しており、約20名（利用登録者の約20%）にご利用いただいています。手話や筆談、実物投影機等を用いた情報保障、コミュニケーション保障を行っています。また、聴覚障害者のある職員が介助員、運転手として勤務しています。地域の高齢者がデイサービスで聴覚障害者と関わることで、障害者の存在が身近なものとなり、地域におけるバリアフリー社会の創生に貢献しています。